

2020年12月期第2四半期
決算説明会資料
2020/8/5



目次

I	2020年12月期第2四半期決算概要	P 3-16
II	2020年12月期業績予想	P17-20
III	今後の見通し	P21-30
	参考資料	P31-34

I

2020年12月期 第2四半期

決算概要

事業環境・発生事項

- 新型コロナウイルス感染拡大により世界的な経済停滞、第2四半期業績へ大きく影響
- 主力事業である黒鉛電極とカーボンブラックは、それぞれの対面業界である鉄鋼産業、タイヤ産業の需要減少を受け業績低下。一方、ファインカーボンと工業炉は、5G・IoT関連市場の成長を背景に需要旺盛
- このような状況下、全社的な投資抑制、生産調整と在庫削減、生産性改善と経費削減、による収益性改善策と手元流動性確保のための資金調達等実施
- フランスの炭素黒鉛製品メーカーであるCarbone Savoie SASを傘下に持つCarbone Savoie International SASの全株式取得完了（2020年7月17日付）
- 公募形式による第2回ハイブリッド社債（劣後特約付社債）を発行（2020年6月30日付）
- ファインカーボン事業の素材生産拠点である田ノ浦工場（熊本県葦北郡芦北町）が令和2年7月豪雨により被災（7月4日）。火災発生時の黒鉛化炉を除く生産設備の復旧は8月下旬。グループ内生産設備、在庫等の有効活用によりサプライチェーンへの影響は限定的

業績動向

- 売上高 937億円（前年同期比32.6%減）
 - 黒鉛電極・カーボンブラックの販売数量減、売価下落
 - Tokai COBEX社が2019年度8月より連結貢献
- 営業利益 58億円（前年同期比85.6%減）

- 売上高 937億円 営業利益 58億円 ROS 6.2%
- 前年同期比で減収減益

(百万円)

	2019年1-6月	2020年1-6月	増減額	増減率
売上高	139,176	93,738	▲45,438	▲32.6%
営業利益	40,441	5,817	▲34,623	▲85.6%
経常利益	40,562	5,163	▲35,399	▲87.3%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	26,067	2,158	▲23,908	▲91.7%

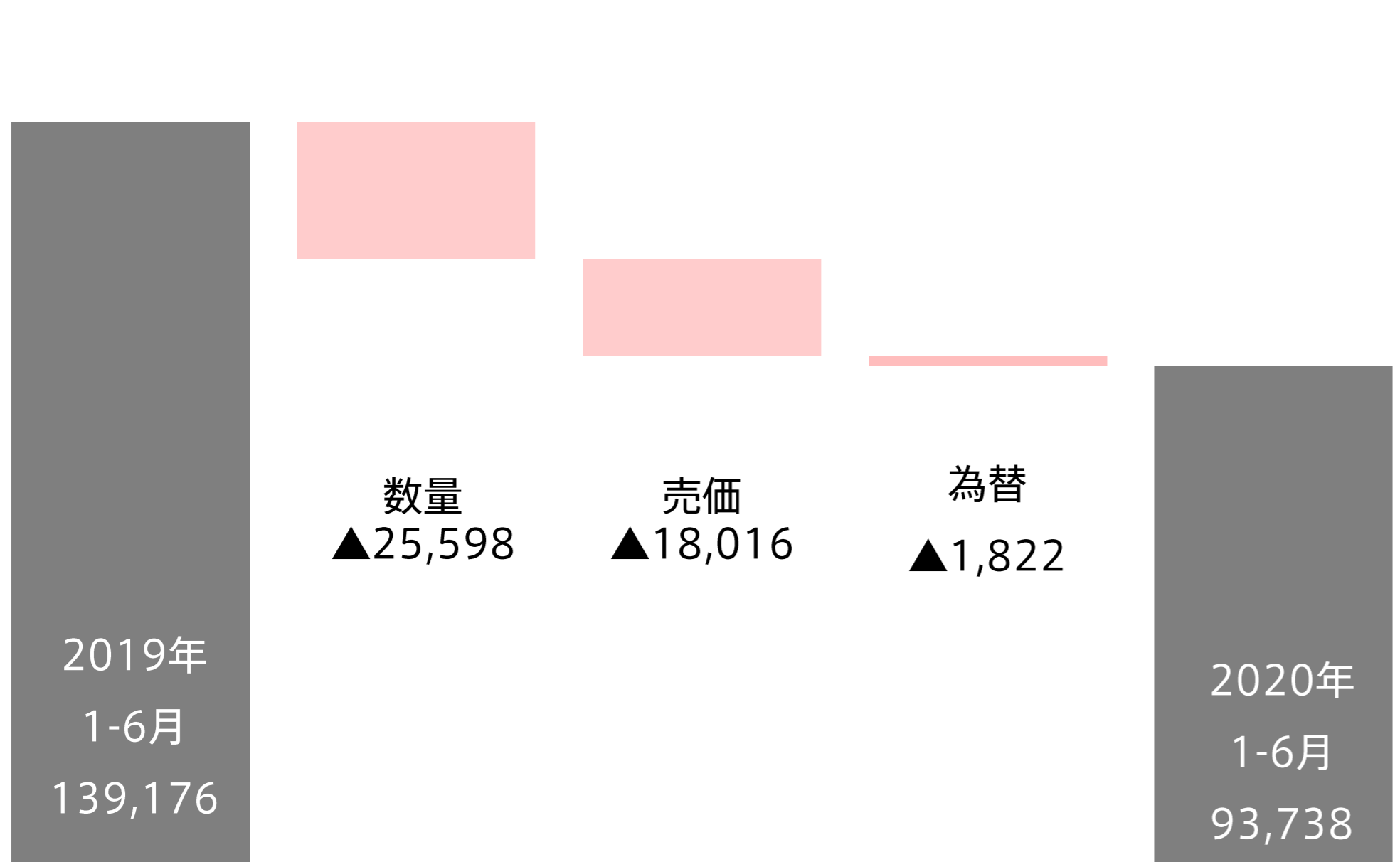
連結対象会社 (2020年6月末現在)

- 連結子会社 33社
- 持分法適用会社 2社

1-6月平均為替レート

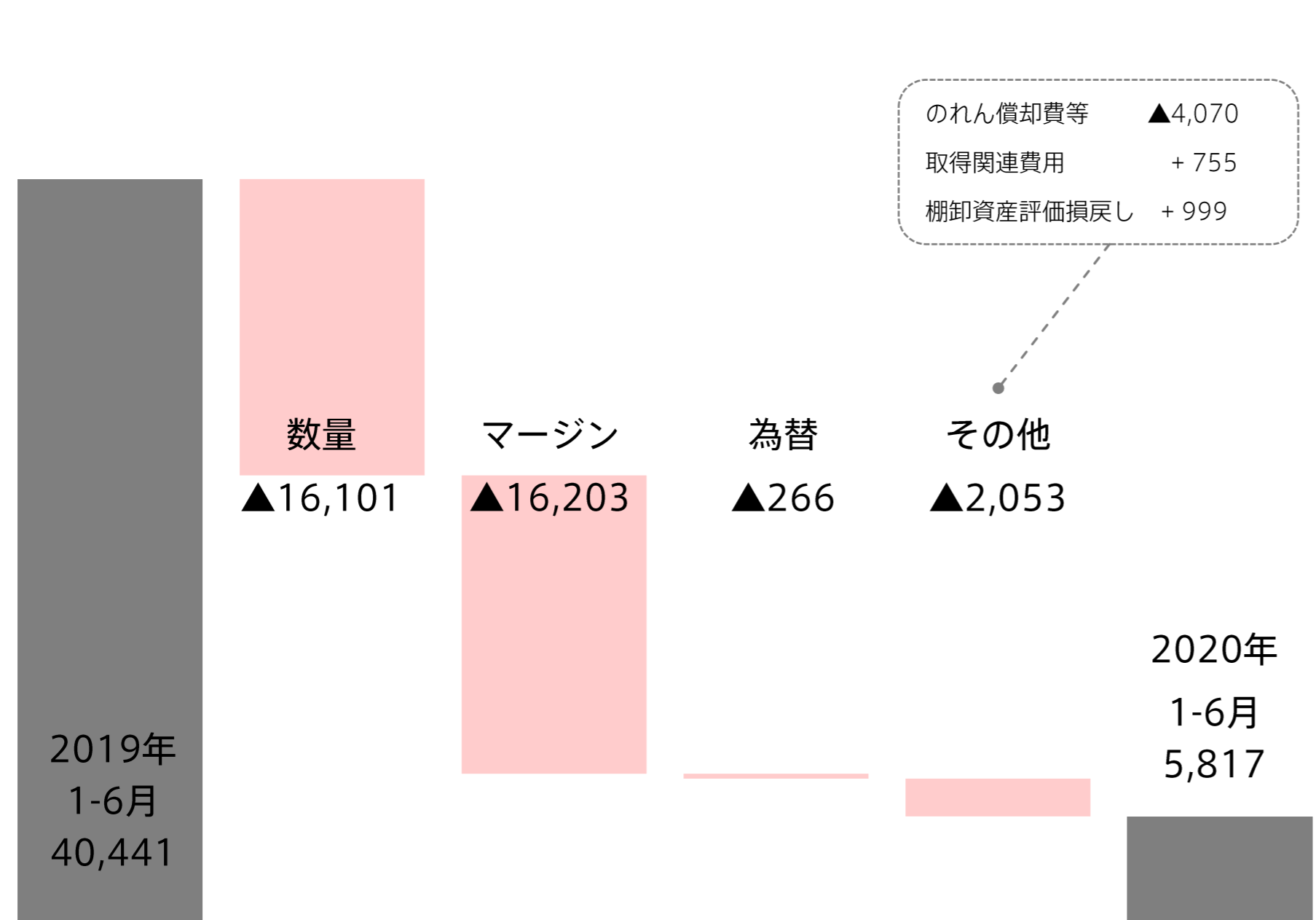
- 2019年 USD1=¥110.05,
EUR1=¥124.32
- 2020年 USD1=¥108.27,
EUR1=¥119.30

- 黒鉛電極、カーボンブラックの数量、売価が前年同期比で下落
- 結果、売上高は前年同期比で32.6%減



	増減額	概要
数量	▲25,598	・ 黒鉛電極 (▲226億円) ・ カーボンブラック (▲163億円) ・ 精錬ライニング (+129億円)
売価	▲18,016	・ 黒鉛電極 (▲129億円) ・ カーボンブラック (▲51億円)
為替	▲1,822	・ 円高 (USD、EUR他)
合計	▲45,438	

- 黒鉛電極、カーボンブラックの数量、マージン減少
- 結果、営業利益は前年同期比で 85.6%減



	増減額	概要
数量	▲16,101	・ 黒鉛電極 (▲146億円) ・ カーボンブラック (▲58億円) ・ 精錬ライニング (+43億円)
マージン	▲16,203	・ 黒鉛電極 (▲158億円) ・ カーボンブラック (▲3億円)
為替	▲266	・ 円高
その他	▲2,053	・ のれん償却費等(精錬ライニング)
合計	▲34,623	

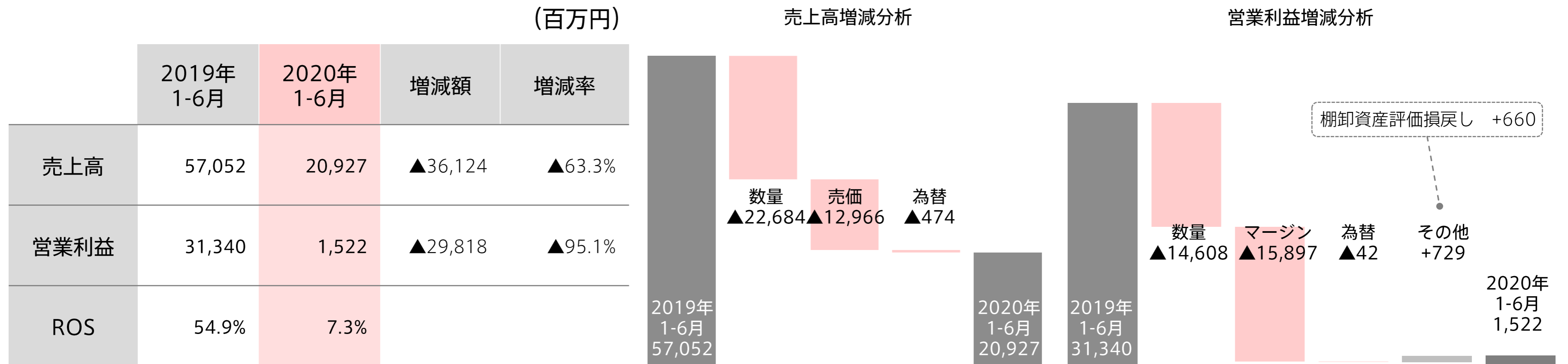
セグメント別売上高・営業利益

- 黒鉛電極、カーボンブラック事業は前年同期比減収減益
- Tokai COBEX事業は「精錬ライニング」事業として新セグメントへ（2019年8月より）
(百万円)

	売上高			営業利益		
	2019年1-6月	2020年1-6月	増減額	2019年1-6月	2020年1-6月	増減額
黒鉛電極	57,052	20,927	▲36,124	31,340	1,522	▲29,818
カーボンブラック	54,595	32,630	▲21,964	5,686	▲108	▲5,795
ファインカーボン	15,960	15,544	▲415	3,455	3,484	+28
精錬ライニング	—	12,900	+12,900	▲972	▲238	+733
工業炉関連	5,013	6,390	+1,376	1,348	1,659	+310
その他	摩擦材	3,916	3,175	▲741	—	—
	負極材	2,564	2,097	▲467	—	—
	その他	72	71	▲1	—	—
	6,554	5,344	▲1,210	199	233	+34
調整	—	—	—	▲618	▲734	▲116
合計	139,176	93,738	▲45,438	40,441	5,817	▲34,623

* 精錬ライニング事業: 2019年Q2に取得関連費用972百万円計上。連結開始は2019年8月より

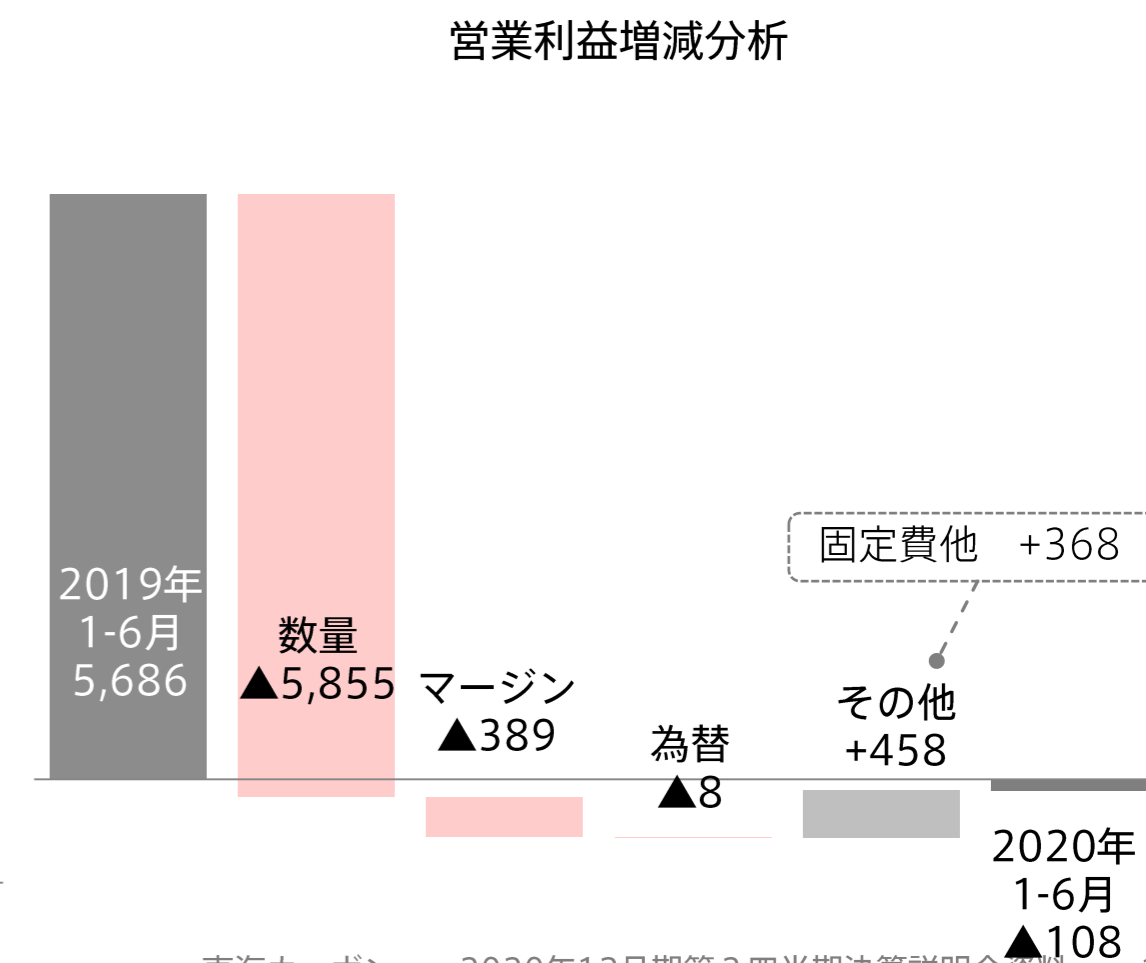
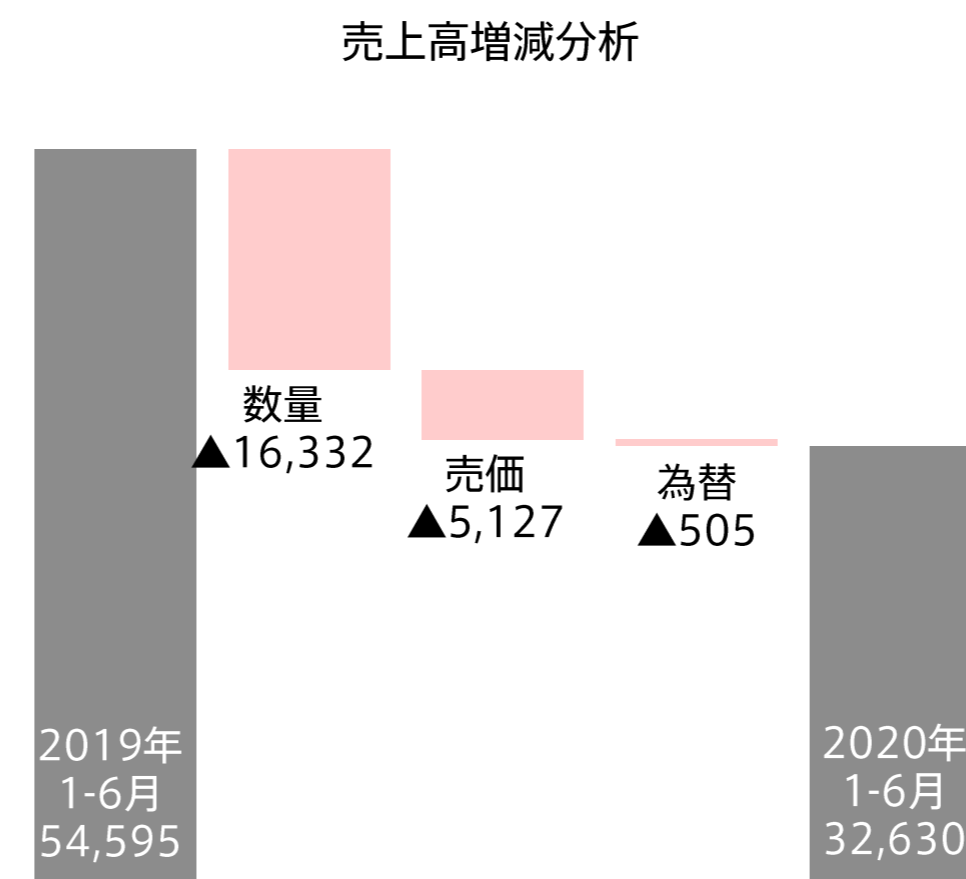
- 鉄鋼需要の減少、顧客の黒鉛電極在庫調整の時期に、4月からは新型コロナウイルスの感染拡大により各国経済が停滞し電極需要減退に拍車をかけた
- 販売数量・価格ともに減少し、前年同期比で売上高63.3%減、営業利益95.1%減



- 新型コロナウイルス感染拡大により、自動車・タイヤメーカーが3月末以降相次いで操業停止。4-6月期のカーボンブラックの需要は急降下。販売数量は前年同期比で3割減
- 需要減に合わせた生産調整実施。急激な減産により売上原価率が急騰し、ROSは▲0.3%（前年同期10.4%）

(百万円)

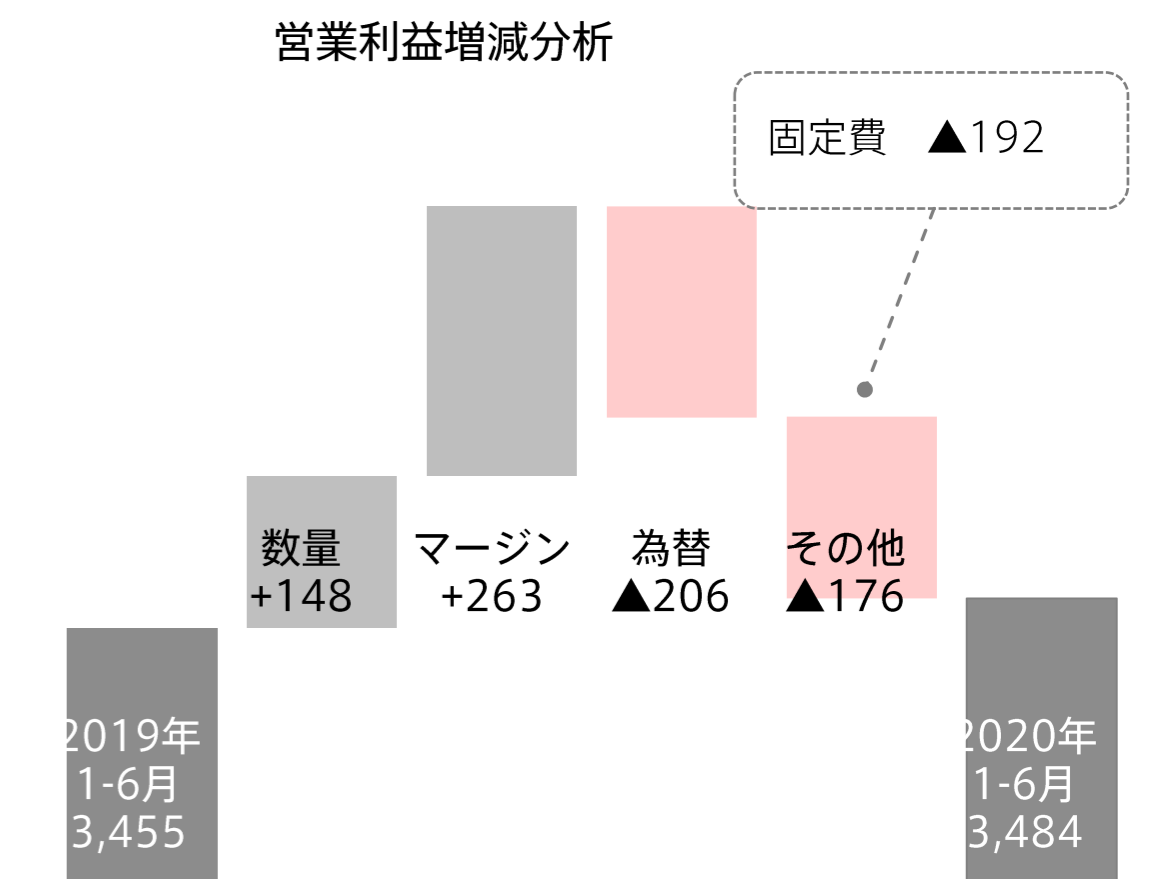
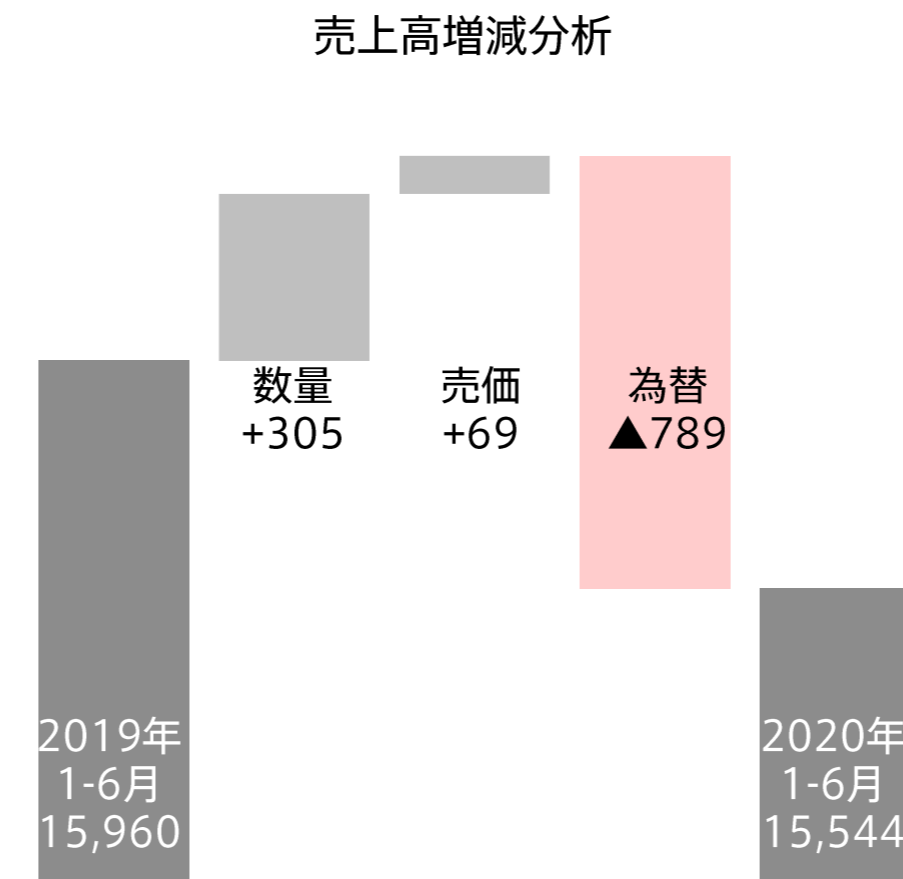
	2019年 1-6月	2020年 1-6月	増減額	増減率
売上高	54,595	32,630	▲21,964	▲40.2%
営業利益	5,686	▲108	▲5,795	—%
ROS	10.4%	▲0.3%		



- 新型コロナウイルス感染拡大により、一般産業用向け顧客の生産・在庫調整あり販売数量減少
- 一方で、足もとの半導体、太陽光発電向け市場は堅調に推移
- 結果、前年同期比、売上高2.6%減 営業利益0.8%増

(百万円)

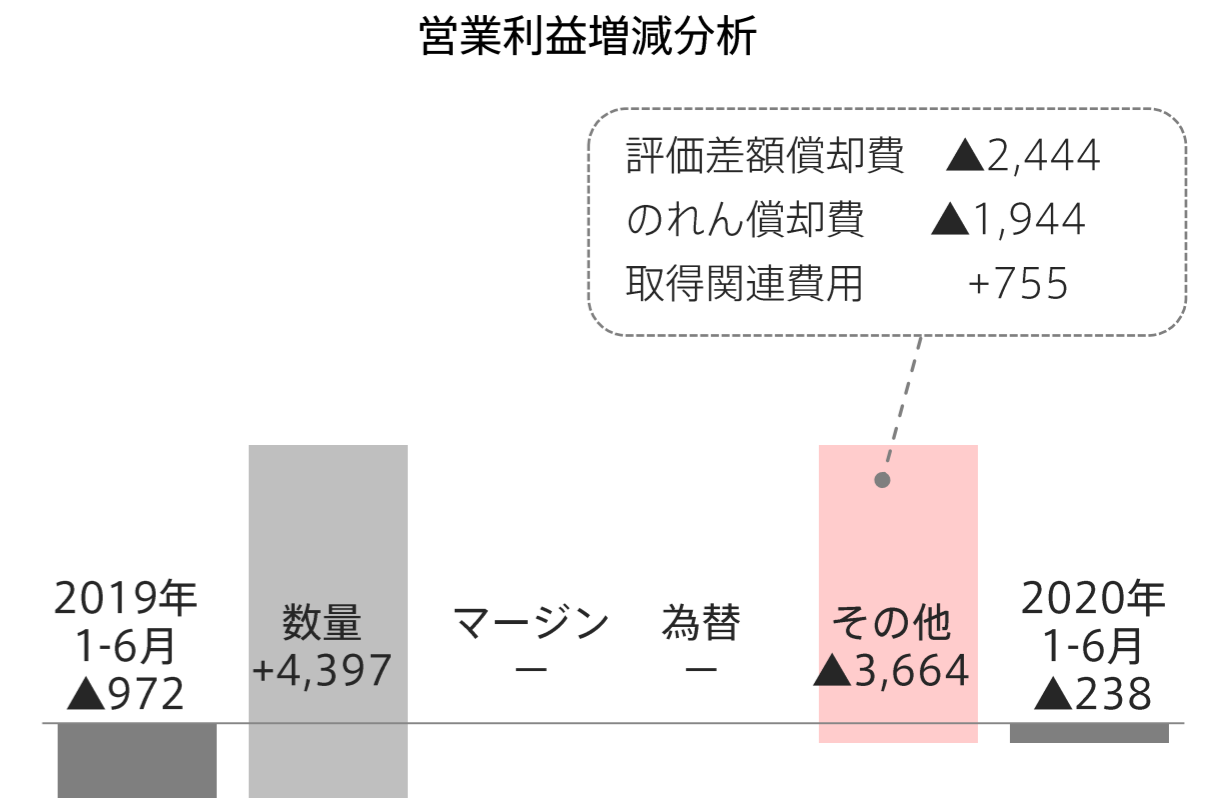
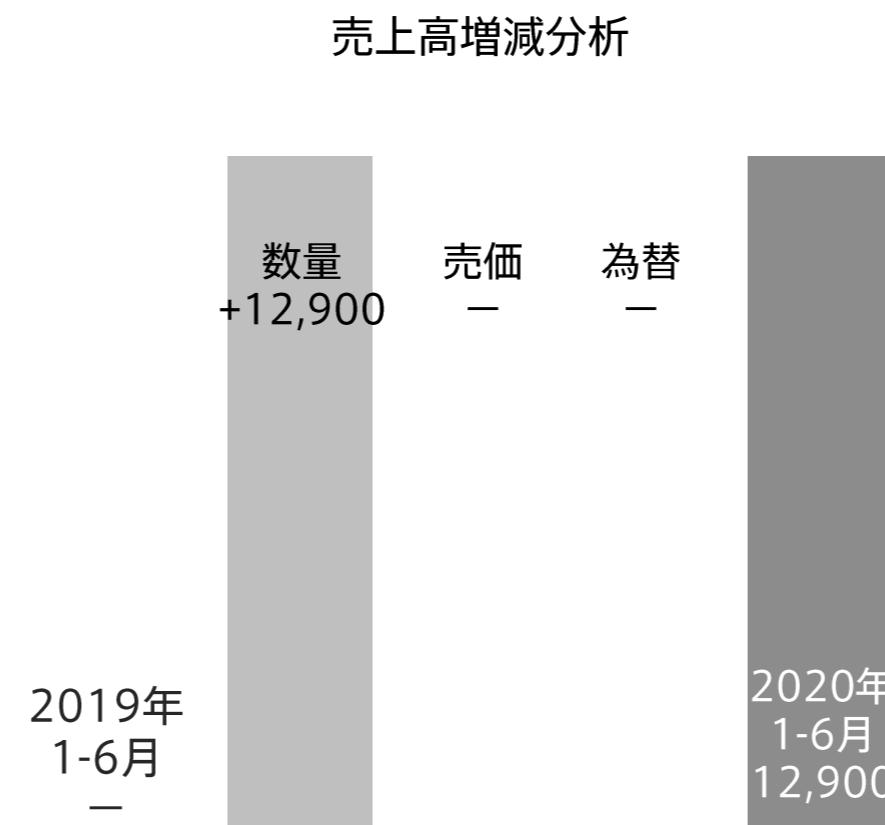
	2019年 1-6月	2020年 1-6月	増減額	増減率
売上高	15,960	15,544	▲415	▲2.6%
営業利益	3,455	3,484	+28	+0.8%
ROS	21.7%	22.4%		



- Tokai COBEX 社 (TCX社) は2019年8月より連結貢献
- 2020年度上期におけるTCX社営業利益は43億97百万円。取得原価配分に伴う評価差額に係る償却費約24億円、のれん償却費約19億円及び一時費用としてCarbone Savoie社(2020年7月17日取得)の取得関連費用約2億円が発生したためセグメント連結営業利益は▲2億38百万円

(百万円)

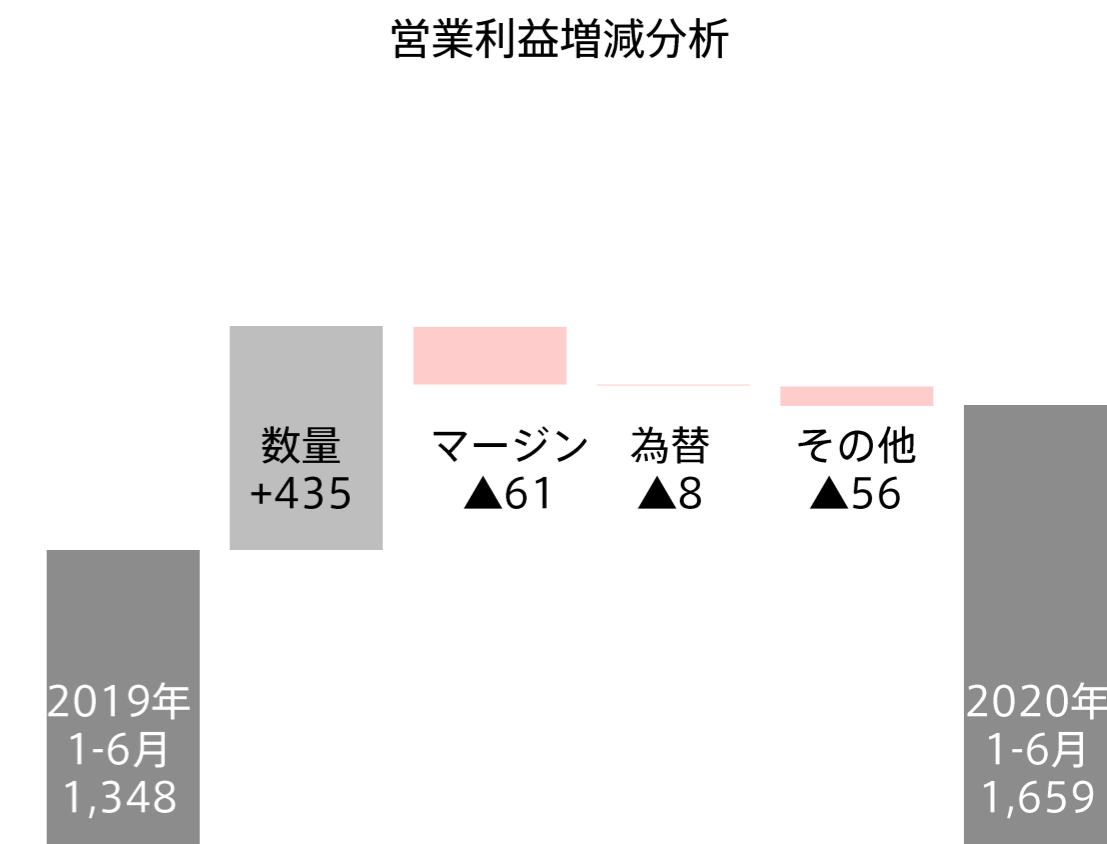
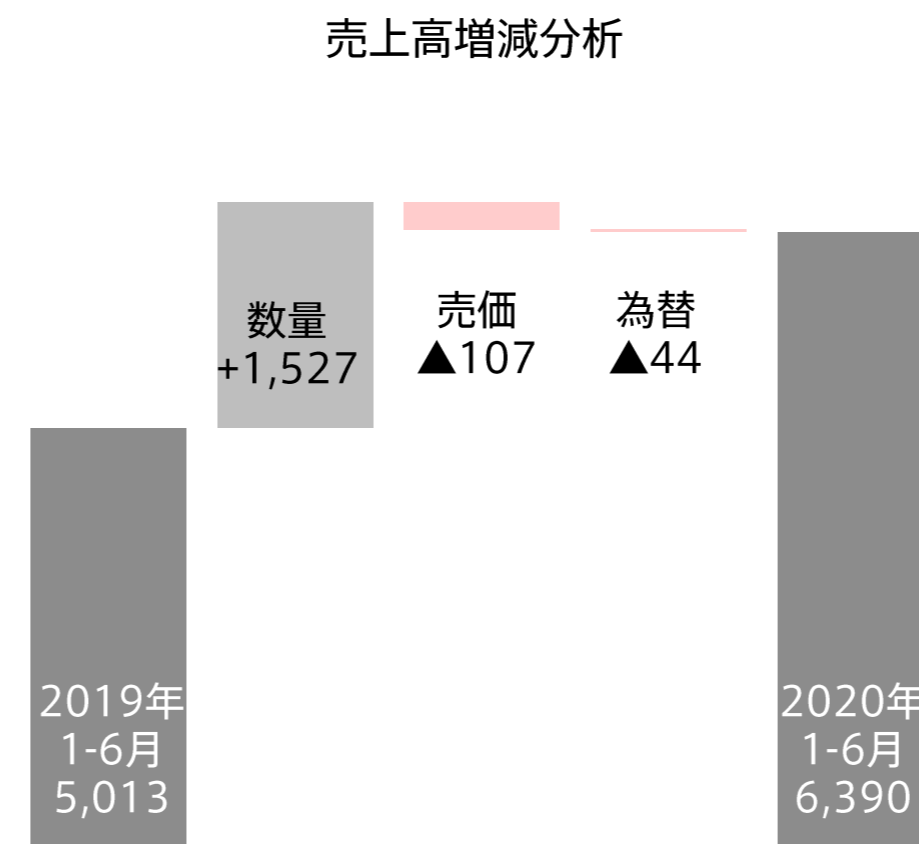
	2019年 1-6月	2020年 1-6月	増減額	増減率
売上高	—	12,900	+12,900	—
営業利益	▲972	▲238	+733	+75.4%
ROS	—%	▲1.9%		



- 発熱体その他製品は、新型コロナウイルス感染拡大の影響や世界経済の減速により、電子部品業界向け及び中国向けの需要が減少し前年同期比で売上高減少
- 一方で、工業炉事業は、情報技術関連業界向け及びエネルギー関連業界向けの設備投資が堅調に推移し前年同期比で売上高増加

(百万円)

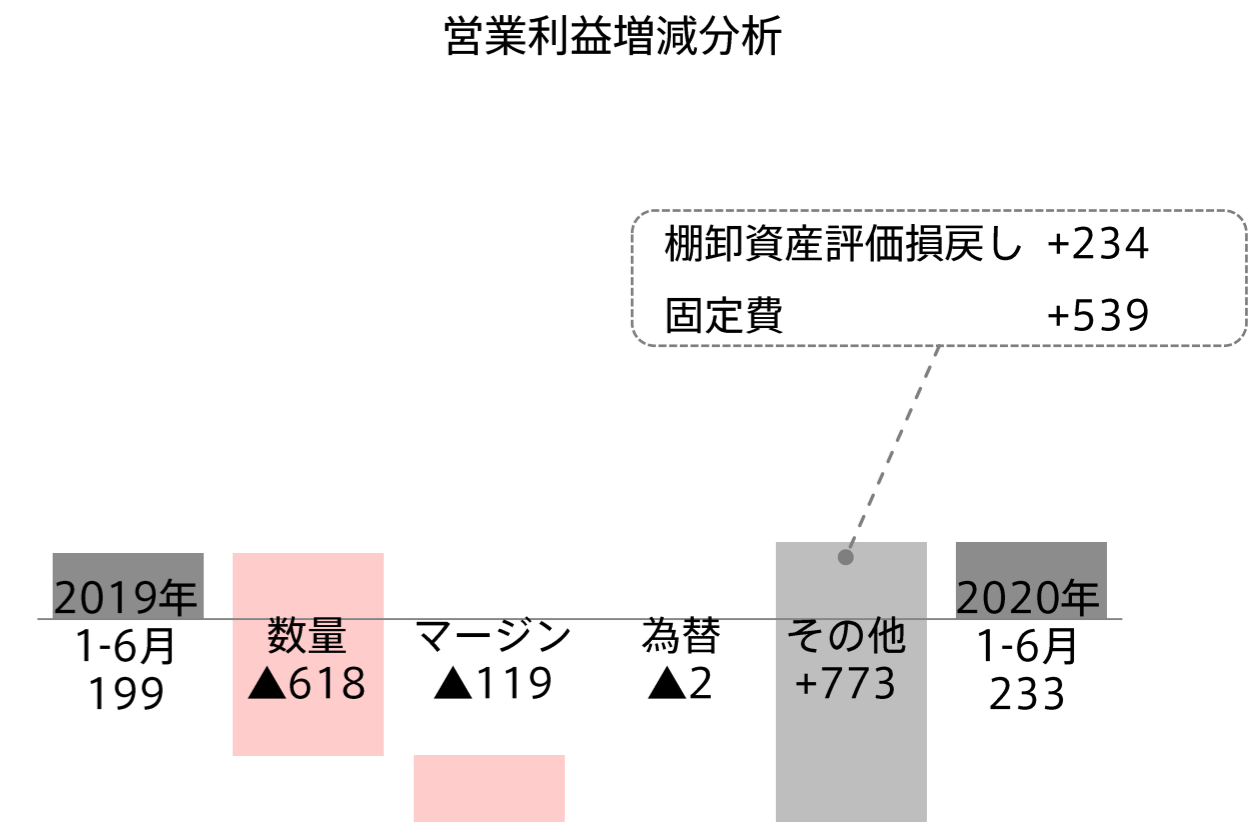
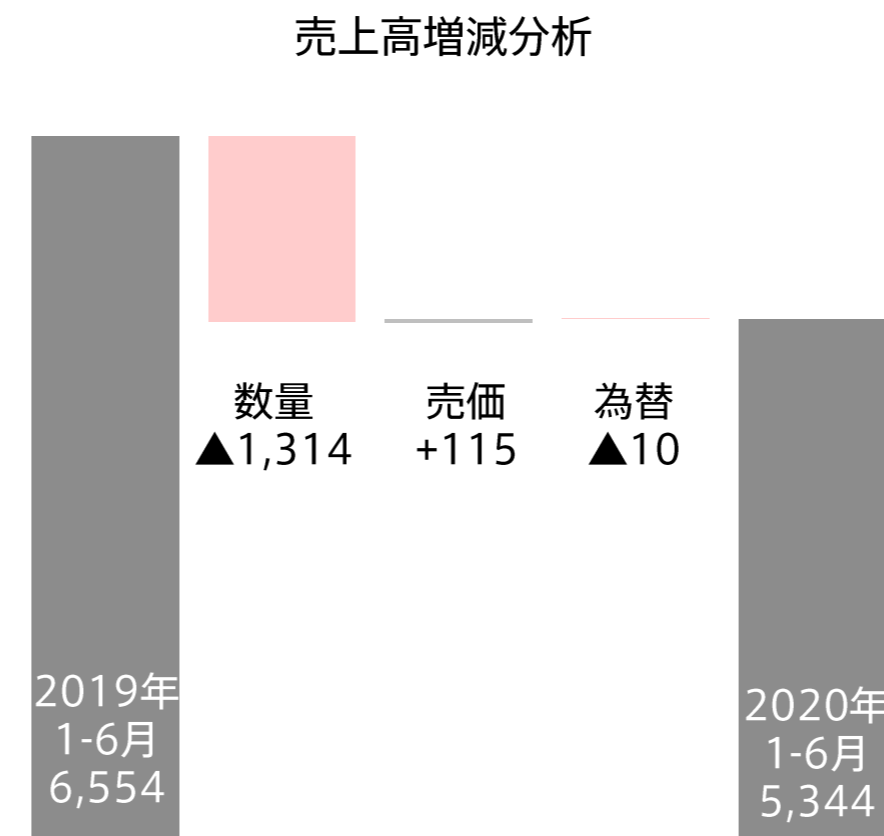
	2019年 1-6月	2020年 1-6月	増減額	増減率
売上高	5,013	6,390	+1,376	+27.4%
営業利益	1,348	1,659	+310	+23.0%
ROS	26.9%	26.0%		



- 摩擦材：四輪市販市場からの撤退、新型コロナウイルス感染拡大による需要減少
 売上高 3,175 百万円（前年同期比 18.9%減）
- 負極材：負極材市場における新興勢の台頭等により競争激化、販売数量は前年同期比で減少
 売上高 2,097百万円（前年同期比 18.2%減）

(百万円)

	2019年 1-6月	2020年 1-6月	増減額	増減率
売上高	6,554	5,344	▲1,210	▲18.5%
営業利益	199	233	+34	+17.3%
ROS	3.0%	4.4%		



主なキャッシュフロー項目

(百万円)

	2019年1-6月	2020年1-6月	概要
営業活動によるキャッシュフロー	15,027	25,536	
税金等調整前当期純利益	40,295	5,074	
減価償却費	6,743	9,998	
のれん償却額	1,315	3,194	
売上債権増減	433	15,716	} 運転資本増減 +10,933 (前年同期 ▲19,651)
棚卸資産増減	▲17,840	7,077	
仕入債務増減	▲2,244	▲11,860	
法人税等の支払額その他	▲13,675	▲3,663	
投資活動によるキャッシュフロー	▲9,661	▲13,532	
有形固定資産取得	▲9,466	▲12,063	
財務活動によるキャッシュフロー	▲8,420	9,095	
借入金増減(CP含む)	▲5,008	▲4,944	
社債発行	-	20,000	
配当金の支払	▲2,557	▲5,115	
現金及び現金同等物期末残高	37,172	66,630	

※運転資本=売上債権増減+棚卸資産増減-仕入債務増減

主な貸借対照表項目

(百万円)

	2019年12月末	2020年6月末	概要
資産合計	462,872	448,563	
流動資産	196,446	190,957	
現預金	52,695	74,198	<ul style="list-style-type: none"> ・現預金月商比率 4.7倍 (前期末2.4倍) ・棚卸資産 (前期末比▲82億62百万円) ・有形固定資産 (前期末比+47億52百万円) ・無形固定資産 (前期末比▲101億22百万円)
受取手形・売掛金	50,648	34,146	
棚卸資産	86,380	78,118	
固定資産	266,425	257,606	
有形固定資産	101,343	106,096	
無形固定資産	141,966	131,844	
投資その他の資産	23,115	19,666	
負債合計	229,896	228,331	<ul style="list-style-type: none"> ・有利子負債 1,630億46百万円 (前期末比+150億16百万円) ・直接調達比率 58.3%(前期末 43.9%)、長期比率 68.3%(前期末53.8%) ・短期融資枠620億円 (前期末400億円) : 借入実行額20億円 ・売掛債権流動化・CPプログラム発行限度枠580億円(前期末480億円) : 借入実行額400億円
流動負債	117,541	83,396	
固定負債	112,355	144,934	
純資産合計	232,975	220,232	<ul style="list-style-type: none"> ・自己資本比率44.5%(前期末45.8%) ・調整後自己資本比率※ 52.3%(前期末51.2%) ・ネットD/Eレシオ 0.4倍 (前期末0.5倍) ・調整後ネットD/Eレシオ 0.2倍 (前期末0.3倍)
株主資本	203,819	200,881	
その他包括利益累計額	8,019	▲1,412	
非支配株主持分	21,137	20,764	
負債純資産合計	462,872	448,563	

※調整後自己資本比率、調整後ネットD/Eレシオとは、ハイブリッドファイナンスでの格付機関からの資本性認定を考慮した自己資本比率、ネットD/Eレシオです

II

2020年12月期

業績予想

- 鉄鋼産業、自動車産業の急激な落ち込みにより、主要事業である黒鉛電極、カーボンブラックの売上高・営業利益が第2四半期以降大きく減少
- ファインカーボン、精錬ライニング、工業炉事業における新型コロナウイルスの感染拡大の影響は限定的

(百万円)

	前回 (2月12日) 業績予想			2020年業績予想 (今回発表)			増減額	増減率
	上期	下期	通期	上期	下期	通期		
売上高	120,100	131,100	251,200	93,738	96,262	190,000	▲61,200	▲24.4%
営業利益	10,500	17,700	28,200	5,817	283	6,100	▲22,100	▲78.4%
経常利益	10,300	17,500	27,800	5,163	▲163	5,000	▲22,800	▲82.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,600	11,000	16,600	2,158	▲1,158	1,000	▲15,600	▲94.0%
ROS	8.8%	13.5%	11.3%	6.2%	0.3%	3.2%	—	—
ROIC	—	—	5.7%	—	—	—	—	—
ROE	—	—	8.0%	—	—	0.5%	—	—

連結対象会社

- 連結子会社 34社
- 持分法適用会社 2社

為替レート前提 (通期)

- USD1=¥106, EUR1=¥119

セグメント別売上高・営業利益予想

19

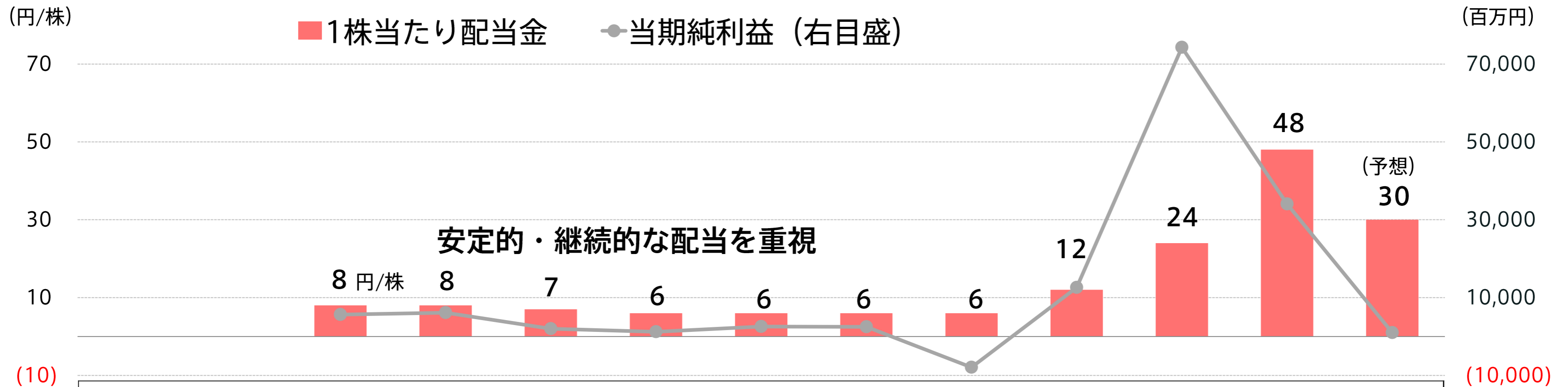
(百万円)

	前回 (2月12日) 業績予想			2020年度 業績予想 (今回発表)			増減額	増減率	
	上期	下期	通期	上期	下期	通期			
売上高	120,100	131,100	251,200	93,738	96,262	190,000	▲61,200	▲24.4%	
黒鉛電極	31,100	34,800	65,900	20,927	16,172	37,100	▲28,800	▲43.7%	
カーボンブラック	46,900	46,400	93,300	32,630	29,069	61,700	▲31,600	▲33.9%	
ファインカーボン	13,700	15,000	28,700	15,544	14,555	30,100	+1,400	+4.9%	
精練ライニング	16,000	21,000	37,000	12,900	23,399	36,300	▲700	▲1.9%	
工業炉関連	7,100	8,500	15,600	6,390	8,310	14,700	▲900	▲5.8%	
その他	摩擦材	3,900	3,900	7,800	3,175	2,925	6,100	▲1,700	▲21.8%
	負極材	1,300	1,400	2,700	2,097	1,803	3,900	+1,200	+44.4%
	その他	100	100	200	71	28	100	▲100	▲50.0%
	その他計	5,300	5,400	10,700	5,344	4,756	10,100	▲600	▲5.6%
営業利益	10,500	17,700	28,200	5,817	283	6,100	▲22,100	▲78.4%	
黒鉛電極	2,900	5,100	8,000	1,522	▲5,222	▲3,700	▲11,700	▲146.3%	
カーボンブラック	3,600	4,000	7,600	▲108	309	200	▲7,400	▲97.4%	
ファインカーボン	2,200	2,900	5,100	3,484	2,516	6,000	+900	+17.6%	
精練ライニング	800	4,000	4,800	▲238	1,939	1,700	▲3,100	▲64.6%	
工業炉関連	1,600	2,200	3,800	1,659	1,740	3,400	▲400	▲10.5%	
その他	200	200	400	233	▲234	0	▲400	▲100.0%	
調整	▲800	▲700	▲1,500	▲734	▲765	▲1,500	0	-	

※ファインカーボン事業部：熊本県田ノ浦工場の被災の影響は織り込んでおりません

- 連結配当性向30%を目標に安定的・継続的な配当を重視
- 2020年12月期の年間配当予想は1株につき30円（中間・期末それぞれ1株につき15円）

1株当たり配当金と当期純利益



(年度)	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020f
配当総額 (百万円)	1,742	1,708	1,708	1,280	1,280	1,280	1,280	2,556	5,114	10,230	6,394
配当性向	31%	28%	75%	106%	50%	52%	-	21%	7%	32%	640%

III

Post COVID-19

今後の見通し

T-2022 基本方針は変わらず

収益基盤の強化

- コア事業における安定キャッシュフローの創出
- 買収5案件のPMI* (経営統合)
- 大幅な設備更新、環境投資

*PMI : Post Merger Integrationの略



成長機会の拡大

- 成長分野における新規設備投資による能力増強
- 事業及び製品ポートフォリオの最適化
- 戦略分野へのM&A投資は継続
- 技術開発力の強化も取り組み継続

連結ガバナンス体制構築

- 本社組織・制度見直し
- 北米統括会社機能の拡充
- 人材の確保、育成

- 2020年から2022年までの3年間を対象とするローリング中期経営計画T-2022の基本方針である「収益基盤の強化」「成長機会の拡大」「連結ガバナンス体制構築」の基本方針は堅持
- 2020年度年業績予想は当初見通しより大幅に落ち込み、今後の見通しについても不確定要素が多くあるも、中計T-2022の定量目標 (売上3000億円・営業利益540億円) は変更せず
- 「精錬ライニング事業部」設立。Tokai COBEX社 (ドイツ) とTokai Carbon Savoie社 (フランス) の統合効果現出へ

- ユーザー操業度落ち込みにより足もとの黒鉛電極需要は減退。下期以降の商談の見通し立たず
- 本格的な回復は2021年末以降か
- 事業を取り巻く基礎的要件は変わらず（中長期的には黒鉛電極需要は増加していく見込）

鋼材需要短期予想（世界鉄鋼協会）

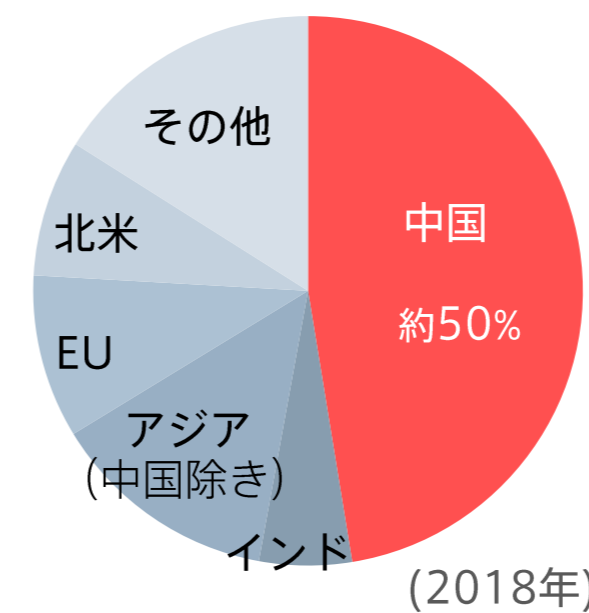
本格的な鉄鋼景気回復は2021年末以降か

	百万トン			前年比・成長率		
	2019	2020f	2021f	2019	2020f	2021f
EU(28)	158.1	133.1	147.0	-5.6%	-15.8%	10.4%
欧州他	33.8	33.3	36.5	-10.0%	-1.6%	9.7%
CIS	58.8	52.7	56.5	5.6%	-10.3%	7.1%
NAFTA	135.0	108.0	114.7	-4.0%	-20.0%	6.2%
中南米	42.4	35.1	39.3	-3.6%	-17.3%	12.2%
アフリカ	36.4	33.0	34.9	0.4%	-9.4%	5.9%
中東	48.7	40.2	45.4	-2.3%	-17.4%	12.9%
アジア他	1253.3	1218.6	1243.2	6.5%	-2.8%	2.0%
世界計	1766.5	1653.9	1717.4	3.4%	-6.4%	3.8%

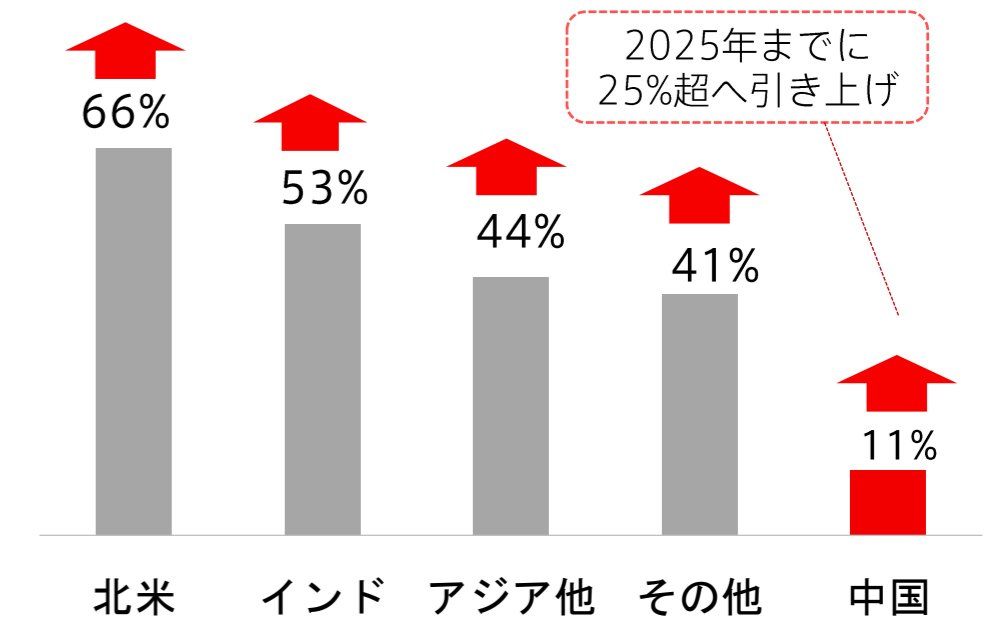
中長期の視点

黒鉛電極事業を取り巻く基礎的要件は変わらず

▶ 世界の地域別粗鋼生産量



▶ 地域別電炉鋼比率 (2018年)



世界の粗鋼生産は中長期的に成長を継続し、環境負荷の観点より「電気炉」への切り替えが促進され、電極需要は増加する見通し

- 自動車メーカー、タイヤメーカー工場の一時的操業停止により需要が短期間に著しく減少
- 年内の回復を期待するも経済活動再開に伴うリスクもあり先行きは不透明
- 本格的な需要回復は各国の自動車生産及びタイヤ消費の動向次第

タイヤメーカーの稼働状況

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7-12月
中国	急減		回復				
欧州	-	急減			緩やかに回復		
北米	-	-	急減			緩やかに回復	

成長市場への拡充により、主要事業依存の事業ポートフォリオを改善

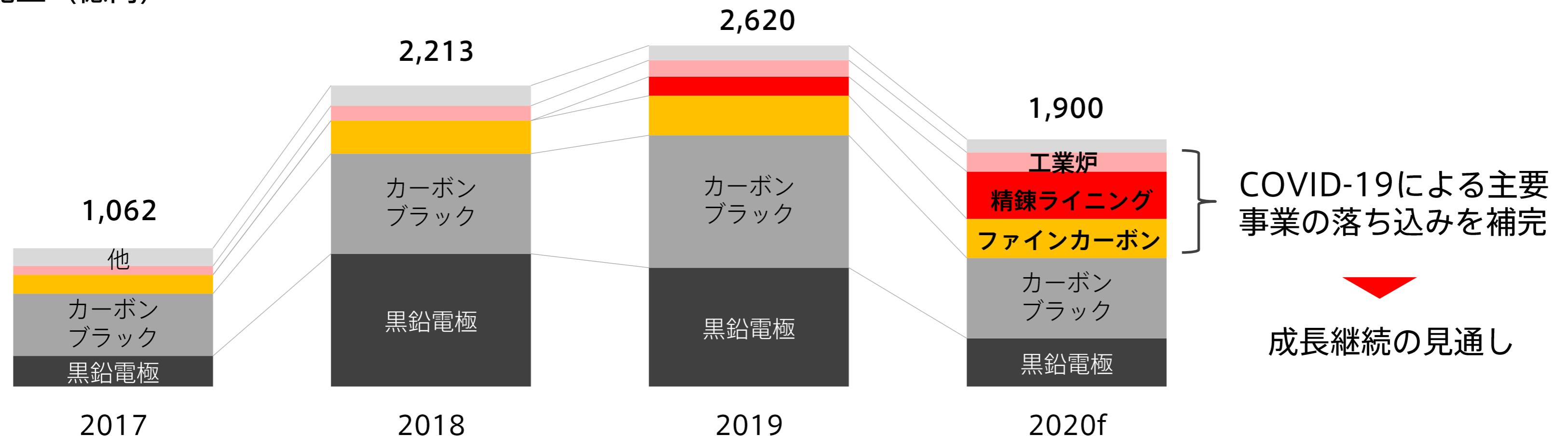
主要事業強化（黒鉛電極・カーボンブラック）

- 17年11月：黒鉛電極・北米拠点買収で飛躍
- 18年9月：カーボンブラック
・北米拠点獲得で連結生産能力倍増

成長事業強化・参入（ファインカーボン・精錬ライニング・工業炉）

- 18年6月：ファインカーボン・韓国東海カーボンの連結子会社化で売上・利益拡大
- 18年以降：工業炉・年率10-20%成長に沿い増産投資継続
- 19年8月：精錬ライニング・Tokai COBEX買収でアルミ精錬炉用のカソード事業参入
- 20年7月：精錬ライニング・Tokai Carbon Savoie買収でカソード事業強化

売上（億円）



黒鉛電極、カーボンブラックに次ぐ主力事業へ（連結売上高構成の約2割）

サボワ
Tokai Carbon Savoie
(2020年7月17日付買収完了)

生産能力：37千トン

製品： アルミ精錬用カソード

特殊炭素製品・負極材開発

コベックス
Tokai COBEX

生産能力：73千トン

製品： アルミ精錬用カソード

高炉ブロック・炭素電極



計 110千トン/年



売上7割はアルミ関連分野



1290名（契約社員含む）

Tokai Carbon Savoie本社（フランス）
ベニシュエ工場（フランス）

ノートルダム・ブリアンソン工場（フランス）

ラチボルツ工場（ポーランド）

ノビスッチ工場（ポーランド）

Tokai COBEX本社（ドイツ）

グローバル事業基盤の拡大と多様化を促す財務方針

財務方針

- 成長戦略を支える流動性確保と財務の健全性の維持
- 経営体質の強化を図り、信用格付け(R&I A-)の維持と向上を目指します

手元流動性

- 手元流動性の水準は3年間で3.3倍へ

不確実に対する耐久性を高めるため、手元流動性の水準（現預金＋短期流動性枠）の拡大を推進。グローバル・キャッシュ・マネジメント（GCMS）を導入してグループ全体のキャッシュポジションを管理することで資金効率の最適化を実践しています。

(参考)

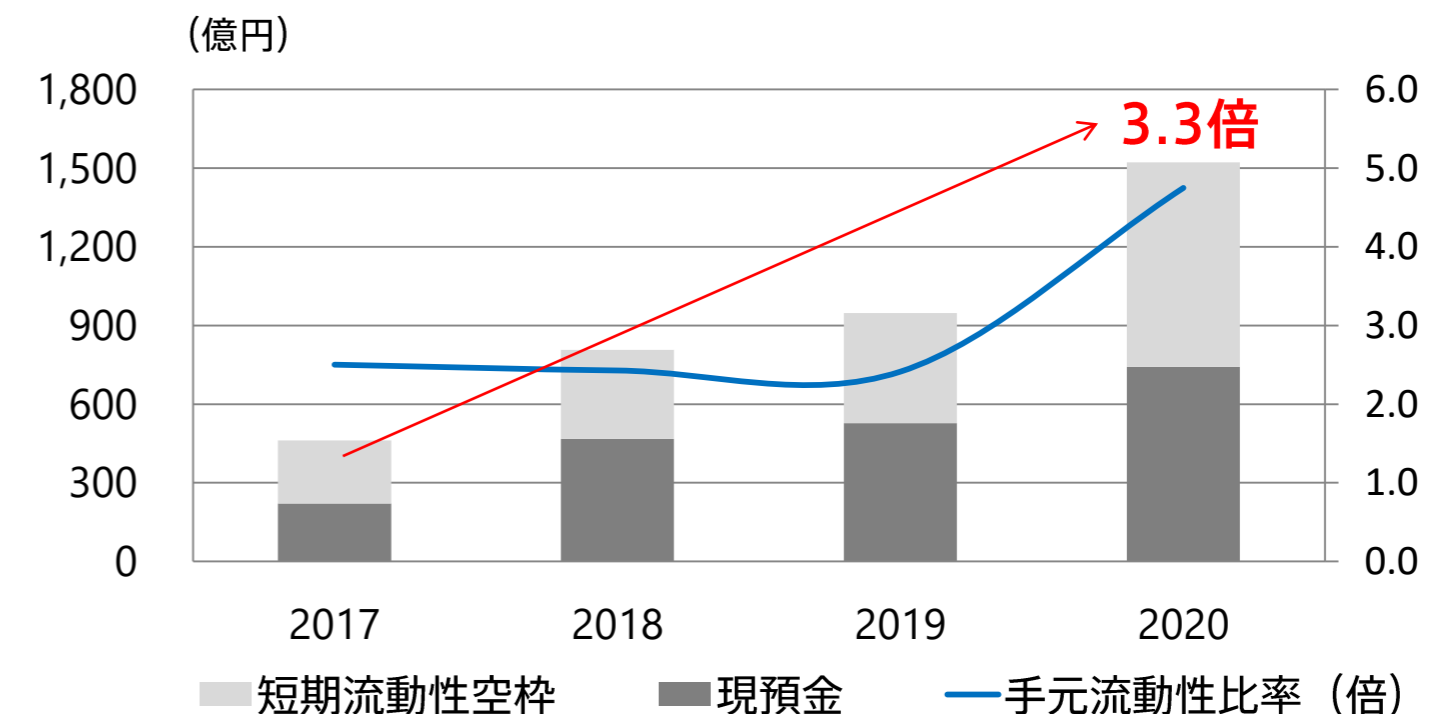
	2017/12	2018/12	2019/12	2020/6
短期流動性空枠	240	340	420	780
現預金	222	468	527	742
手元流動性比率 (倍)	2.5	2.4	2.4	4.7

*手元流動性比率とは、手元流動性（現金＋預金）÷月商（売上高÷連結会計期間）です

(財務基本方針)

- ① 財務基盤強化と格付けの維持向上
- ② 長期安定資金の確保、金融資本市場へのアクセス維持
- ③ 流動性維持、リファイナンスリスクの軽減
- ④ グローバル資金管理と資金効率の最適化

(Global Cash Management System・インハウスバンキング機能)

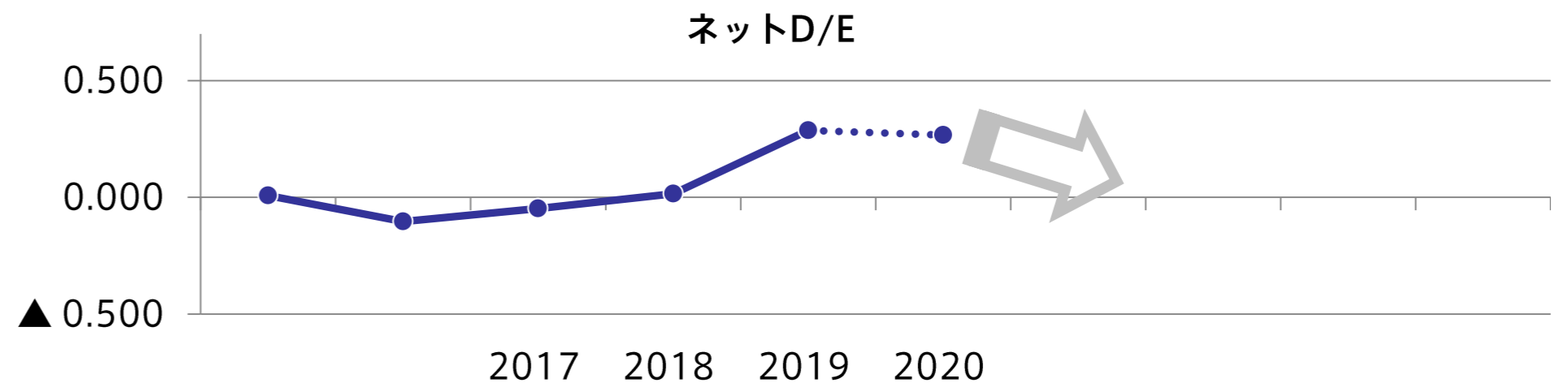


4年間で総額1800億円のM&A実施。ハイブリッド・ファイナンスにより株式の希薄化を回避しつつ、Aゾーンの信用格付けを下支え

	第1回劣後債	第1回劣後ローン	第2回劣後債
年限	30NC5	30NC7	30NC10
調達金額	25,000	25,000	20,000
払込期日	2019/12/10	2019/12/27	2020/6/30
初回任意償還日	2024/12/10	2026/12/27	2030/6/30
金利 (%)	5年円スワップ +0.85%	7年円スワップ +0.95%	10年円スワップ +1.70%
ステップアップ	初回任意償還日以降、当初スプレッド+1.0%		
利払任意停止	任意繰延べ可(累積) / 強制支払条項付/ 追加利息有り		
借換制限条項	社債要項に規定、例外規定あり		
劣後特約	劣後特約付		
発行体格付	A- (R&I)		
取得債券格付	BBB (R&I)		
取得資本性	50% (R&I)		

調整後ネットD/E 0.3倍を4~5年で0.0倍へ

将来の投資余力を高めるため、ネットキャッシュに向けた手元流動性の確保と債務圧縮を推進。営業キャッシュフローの一定額を借入金の返済に充て、調整後ネットD/Eレシオを0.3倍から0.0倍へ引き下げる方針です。



(参考)

	2017/12	2018/12	2019/12	2020/6
調整後ネット有利子負債	▲60	29	703	538
調整後自己資本	1,264	1,871	2,368	2,345
調整後ネットD/E (倍)	▲0.047	0.016	0.297	0.230

*調整後ネットD/Eとは、ハイブリッドファイナンスでの格付機関からの資本性認定を考慮したネットD/Eです

- サステナビリティ目標の達成に向けた活動を推進
- 当社のグローバル化に沿ったESG体制の構築

マテリアリティとサステナビリティ目標（一例）

マテリアリティ (テーマ)	マテリアリティ (要素)	2020年度サステナビリティ目標	
地球環境との調和	環境負荷低減	温室効果ガスの排出削減	エネルギー消費原単位の削減（前年度比1%以上削減）
事業を通じた社会課題への貢献	技術革新への挑戦	研究開発の推進	環境負荷低減テーマ向けの開発費用の割合60%以上
	安全・安心な製品の供給	更なる品質の向上	電極原単位の削減（2019年度比3%）
経営基盤の強化	コーポレートガバナンスの強化	連結ガバナンス体制の整備	
	労働安全衛生の推進	労働災害の低減	労災度数率の低減（度数率0.98以下）

ESG指数（FTSE）の構成銘柄に選定（2020年6月）

ロンドン証券取引所子会社のFTSE Russell社が開発した株式指数で、ESG(環境、社会、ガバナンス)において優れた取り組みを行っている企業を選定されます。



FTSE4Good



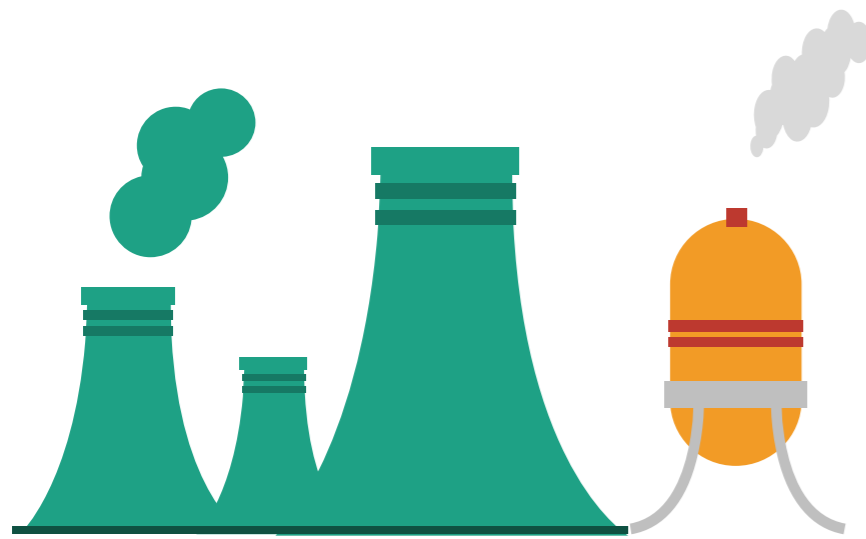
FTSE Blossom Japan

FTSE Russell (FTSE International Limited と Frank Russell Companyの登録商標)はここにTokai Carbonが第三者調査の結果、FTSE4Good Index SeriesおよびFTSE Blossom Japan Index組み入れの要件を満たし、本インデックスの構成銘柄となったことを証します。FTSE4Good Index SeriesおよびFTSE Blossom Japan IndexはグローバルなインデックスプロバイダーであるFTSE Russellが作成し、環境、社会、ガバナンス（ESG）について優れた対応を行っている日本企業のパフォーマンスを測定するために設計されたものです。FTSE4Good Index SeriesおよびFTSE Blossom Japan Indexはサステナブル投資のファンドや他の金融商品の作成・評価に広く利用されます。

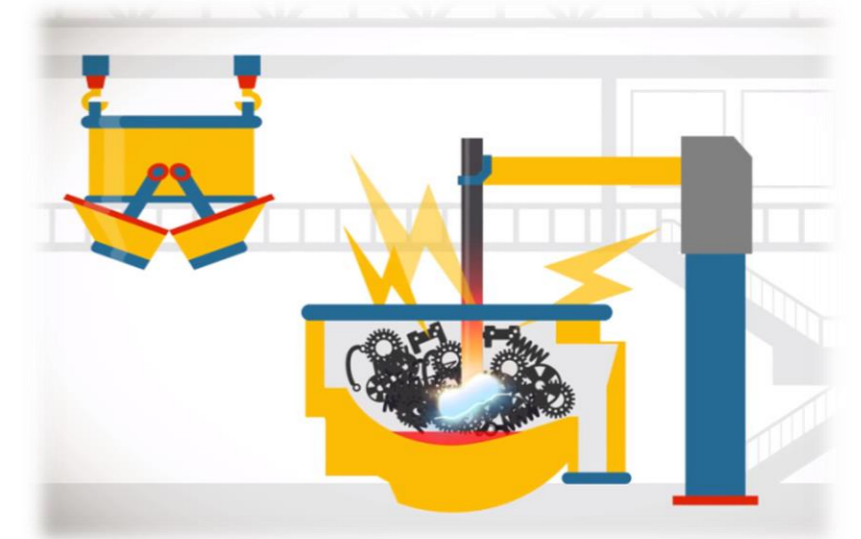
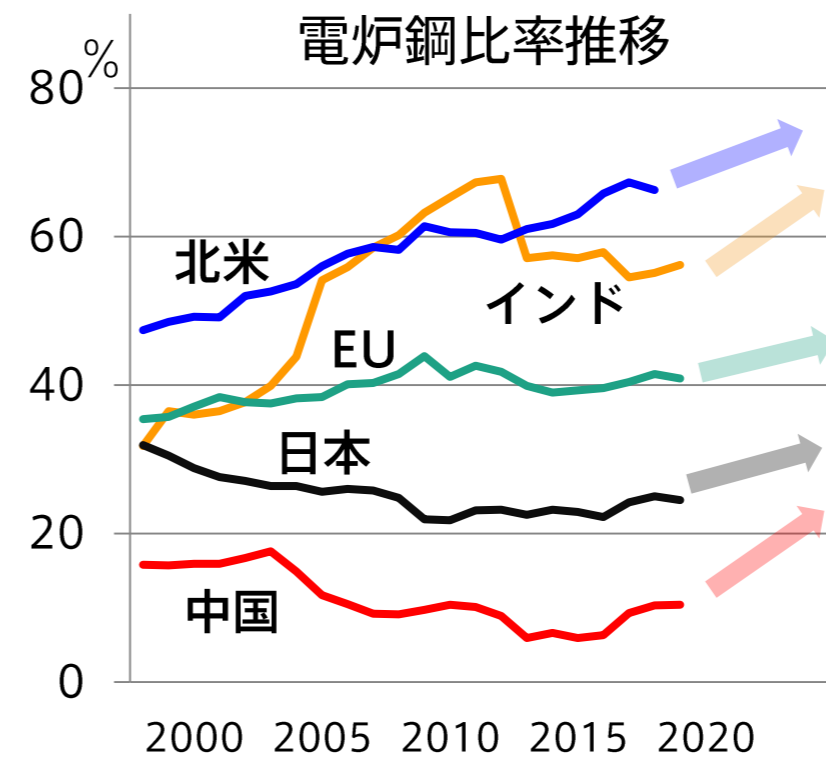
FTSE4Good Index Series: <https://www.ftserussell.com/products/indices/FTSE4Good>

FTSE Blossom Japan Index: <https://www.ftserussell.com/products/indices/blossom-japan>

- つくる責任。環境投資プロジェクトを優先（コロナ禍も投資継続）
- 黒鉛電極を通じ世界全体のエネルギー効率の改善に貢献



北米・アデイス工場では新たに廃熱回収設備導入。工場ですべての電力を賄うことでエネルギーの効率循環を図っています



環境負荷低減、リサイクルの観点から、スクラップ溶融で鉄を再生する電気炉製鋼法が世界的に増加する見通しです

140
億円超

環境設備投資による取り組み

北米のカーボンブラック工場3拠
点に生産に伴う環境負荷低減の
ために排脱装置等へ投資

CO₂
削減

循環型社会の実現

拡大する電炉鋼需要に対して、
安定供給と原単位低減により
CO₂削減に貢献します

參考資料

(百万円)

子会社	2019年 1-6月	2020年 1-6月	増減額	所在地・事業	概要
Tokai ErftCarbon	18,244	6,871	▲11,373	ドイツ 黒鉛電極	
Tokai Carbon GE	22,519	7,049	▲15,469	アメリカ 黒鉛電極	・2017年11月より連結寄与
Thai Tokai Carbon Product	9,351	5,034	▲4,317	タイ カーボンブラック	
東海炭素（天津）	2,342	1,517	▲824	中国 カーボンブラック	
Tokai Carbon CB	24,265	14,173	▲10,092	アメリカ カーボンブラック	・2018年9月より連結寄与
Cancarb	3,633	3,024	▲608	カナダ カーボンブラック	
Tokai Carbon Korea	8,486	9,669	+1,182	韓国 ファインカーボン	・2018年6月より連結寄与

(百万円)

	2016	2017	2018	2019	2020 (予想)
売上	88,580	106,252	231,302	262,028	190,000
営業利益	1,131	11,093	73,065	54,344	6,100
EBITDA	9,627	18,201	85,374	77,053	32,000
親会社株主に帰属する純利益	▲7,929	12,346	73,393	31,994	1,000
ROS (%)	1.3%	10.4%	31.6%	20.7%	3.2%
ROE (%)	▲6.8%	10.4%	46.8%	16.0%	0.5%
ROIC (%)	0.7%	7.7%	29.6%	13.1%	-
設備投資額	6,013	4,282	11,794	24,341	35,000
減価償却費	8,124	6,647	10,390	18,503	20,000
研究開発費	2,249	1,482	1,883	2,460	3,000
有利子負債	17,048	16,144	49,710	148,030	-
ネットD/Eレシオ	0.0	0.0	0.0	0.5	-
調整後ネットD/Eレシオ	0.0	0.0	0.0	0.3	-
従業員数 (人)	1,980	2,142	2,944	3,714	-
為替レート (JPY/USD)	108.85	112.19	110.43	109.05	106.00

※EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費

セグメント別業績推移 (四半期ベース)

34

f=予想値 (百万円)

	2019					2020			
	Q1	Q2	Q3	Q4	通期	Q1	Q2	下期f	通期f
売上高	68,838	70,338	59,448	63,404	262,028	52,790	40,948	96,262	190,000
黒鉛電極	27,540	29,511	15,971	18,294	91,317	11,460	9,467	16,172	37,100
カーボンブラック	27,308	27,286	25,763	21,391	101,751	21,030	11,600	29,069	61,700
ファインカーボン	8,296	7,664	7,286	7,122	30,369	7,825	7,718	14,555	30,100
精錬ライニング	—	—	4,511	10,151	14,662	6,652	6,248	23,399	36,300
工業炉関連	2,212	2,801	3,194	4,432	12,641	3,242	3,147	8,310	14,700
その他									
摩擦材	2,030	1,886	1,857	1,706	7,480	1,639	1,535	2,925	6,100
負極材	1,413	1,151	827	269	3,661	903	1,193	1,803	3,900
その他	36	36	36	35	144	35	35	28	100
その他計	3,480	3,073	2,721	2,011	11,286	2,579	2,765	4,756	10,100
営業利益	21,226	19,215	8,980	4,922	54,344	6,750	▲932	283	6,100
黒鉛電極	15,423	15,917	4,921	3,126	39,388	2,131	▲609	▲5,222	▲3,700
カーボンブラック	3,424	2,262	2,282	542	8,512	1,741	▲1,850	309	200
ファインカーボン	1,905	1,549	1,463	1,188	6,107	1,919	1,564	2,516	6,000
精錬ライニング	—	▲972	▲272	▲356	▲1,600	175	▲414	1,939	1,700
工業炉関連	586	762	806	1,072	3,227	868	790	1,740	3,400
その他	166	33	82	▲303	▲21	242	▲9	▲234	0
調整	▲279	▲339	▲304	▲347	▲1,270	▲330	▲404	▲765	▲1,500

- 本資料に掲載されている将来見通しの記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因の仮定を前提としています。
- 実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績に影響を与える要素には、経済情勢、原材料価格、製品の需給動向及び市況、為替レートなどが含まれますが、これらに限定されるものではありません。
- 本資料中の定量目標、参考値、投資額等は、あくまでビジョン、中期的戦略等を示すものであり業績予想ではありません。当社はこれらについて情報を更新する義務を負いません。
- 正式な業績予想は東京証券取引所規則に基づく決算短信での開示をご参照ください。

IRに関する連絡先
総務部 TC-IR@tokaicarbon.co.jp



Building a Future of Technology and Trust
TOKAI CARBON CO., LTD.